



3日間コース

1日目 パリ / ル・マン

2日目 モン・サン=ミッシェルまたはサン・マロ（カンカル）またはモネの家（ジヴェルニー）

3日目 ロワール渓谷の古城 / パリ

1日目：パリ / ル・マン

午前中にパリ市内またはロワシー空港からルマンに移動。ルマン市内のホテルにチェックイン。

ガイドと共にシテ・ブランタジュネを見学。

自動車博物館の24時間耐久レース場を見学。

レストランにて夕食。



2日目：モン・サン=ミッシェル

午前8時半頃モン・サン=ミッシェルに向かってホテルを出発。お昼近くに目的地に到着。独特のレシピでモン・サン=ミッシェルの知名度向上に貢献してきた由緒ある格調高いレストラン「ラ・メール・プーラル（La Mère Poulard）」で昼食。

メニューの一例：ラ・メール・プーラル風スフレオムレツあるいは鶏または魚とムール貝のスープ煮、チョコレートケーキまたはシャーベットまたはチーズケーキの赤ベリーソース沿え、赤または白ワインまたはシードルー杯とコーヒー。

午後はガイド・通訳（フランス語、英語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、日本語の中から選択）付きで**モン・サン=ミッシェル**の街と**修道院**を見学。所要時間約2時間。自由時間内でお買いものをしていただいた後ル・マンに向かって出発。到着は午後8時半を予定。

概説：モン・サン=ミッシェルの独特な建築様式とその湾により、このスポットはノルマンディー地方では1番、フランスでは3番目に観光客の多い場所となっています。修道院付属教会の頂点にあるミカエル像は海拔170mの位置にあります。修道院とそれに付属する建物は歴史的記念建造物に指定されており（この他にも60の建造物が保護されています）、この町と湾は1979年にユネスコの世界遺産リストに登録されました。



2日目：ジヴェルニーで「クロード・モネとその作品」を楽しむ一日

ホテルをジヴェルニーに向けて9時ごろ出発。到着はお昼近くを予定。到着後フランス料理のレストランで昼食。

ジヴェルニーのレ・ナンフェア (les Nymphéas) または同等のレストランを使用。

メニューの一例：軽いクリームとスモークサーモン、ノルマンディー風チキンソテー、カスタードクリーム添えアップルタルト、ワイン1/4本、ミネラルウォーターとコーヒー。

午後、ガイドと共に有名なクロード・モネの庭園を見学後、少人数グループに別れて家の中を見学。所要時間：1時間半。(可能な言語：フランス語、英語、ドイツ語)

概説：色ばかりでなくガーデニングをこよなく愛したモネは、花の庭と水の庭を真の芸術作品として造り上げました。庭園や邸宅内を訪れる人々は、印象派の巨匠と言われたモネの自宅に漂っていた雰囲気を感じ取り、芸術的発想源となった睡蓮や様々な色彩の花々の前でその美しさに感嘆します。

ル・マンへの到着は午後7時を予定。到着後に夕食。



2016年からのプログラム 2日目：「カンカル / サン・マロ」1日観光

ホテルを午前8時30分頃カンカルに向けて出発。牡蠣養殖場の見学と試食（牡蠣2個と白ワイン1杯）。カンカルの「シェ・ヴィクトール (Chez Victor)」または同等のレストランで昼食。

メニューの一例：魚のスープ、メルルーサの切り身のライスと野菜添え、デザート、ワイン1/4本、ミネラルウォーターとコーヒー。

昼食後にサン・マロに向け出発。市内を徒歩にてガイド付きで見学（1時間半）。

概説：ランス川の入口に位置する石の軍艦とも呼ばれるサン・マロには、その海岸と港を見下ろすように城壁がそびえ立ち、城塞から隆起する外壁や塔が街のシルエットを独特なものにしています。サン・マロの街を散策するには、眺望が開ける城壁の上の歩道をおすすめします。

ルマンへは午後8時に到着予定。



3日目：ロワール溪谷の古城見学 / パリへ移動

ホテルを午前8時30分頃シソーに向けて出発。11時にガバル（LES GABARES）と呼ばれる伝統的な平底船で河川からの眺めを楽しみます。シュノンソー城の壮麗なアーチ橋の下もくぐります。所要時間：50分。

概説：シュノンソー城は、気質の全く異なる数人の女性により造られ、整えられ、改造されました。1513年カトリーヌ・ブリソネが建て、その後ディアヌ・ド・ポワチエにより完成度の高いものとなり、カトリーヌ・ド・メディシス時代に拡張され、未亡人となったルイーズ・ド・ロレーヌの故人との思い出の場所となり、フランス革命中はルイーズ・デュパンに守られ、マダム・ブルーズが大々的な改造を施しました。女の城²と呼ばれたこの城のいたるところには女性らしさを感じられ、戦争や対立を避け平和を象徴する場所として守られてきました。貴重なタペストリー、調度品や絵画などが飾られ、複数の庭園、公園そしてワイン醸造所もあるこの城は、フランスで最も入場者の多い個人所有の歴史的建造物です

モンルイ・シュル・ロワールでワイナリーを訪れ、ワインを試飲します。

概説：1961年に発足したCave des Producteurs（ワイナリーのセラー）は、質の高いワインを伝承するため伝統を守りながら135ヘクタールのぶどう畑で働く**ワインス作りに情熱を捧げる15の醸造業者**から構成される共同組合です。

ワイン醸造は、maître de chaiと呼ばれる醸造責任者とワイン学エンジニア監視の元、全てセラーの中で行われます。できたワインはテイステイング委員会により丹念に格付けされます。Cave des Producteurs（ワイナリーのセラー）は、モンルイ・シュル・ロワール原産地呼称統制ワインの3分の1を販売しており、約2百万本がそのカーヴに眠っています。従来の技量と現代的なワイン醸造技術を持ちながらもモンルイの伝統的手法の確立を専門とし、落ち着いたワインの優れた品質により数々の賞を獲得しています。

モンルイ・シュル・ロワールのレストラン「ラ・カーヴ」または同等のレストランにて遅めの昼食（13時）。

メニューの一例：今日の前菜、魚または肉料理のメインディッシュ、チーズまたはデザート（当日の市場から仕入れた素材を使用）、ワイン1/4本、コーヒー。

午後、**シャンボール城**見学（ガイド付き）。

所要時間：1時間半。パリへ出発。到着は午後9時予定。



お一人様の料金：

475 €（参加者8～16人の場合）

8人未満のグループについては別途お見積りいたしますのでお問い合わせください。

料金に含まれるもの：

- 16人乗り Master または7人乗りメルセデス Viano と運転手1人を使っての3日間の移動。
- 日程に記載されているガイド付き観光および見学
- 全ての食事（質の高いフランス料理をお楽しみいただくために厳選されたレストランを利用しています）。
- 四つ星ホテルで2泊（基本ダブルルーム利用）



お車で

ル・マンは、フランス西部、中央部、ノルマンディー、イル・ド・フランスの主要都市を結ぶ5つの高速道路の路線の中心にあり、これらの都市まで車で2時間です。



列車で

毎日TGVが主要都市との間を短時間で結んでいます：

- パリから54分
- トゥールとアンジェから1時間
- レンヌとナントから1時間30分
- リールとリヨンから3時間
- マルセイユとストラスブールから4時間



飛行機で

TGV利用で空港にダイレクトアクセス：

- マッシー-TGV（オルリー空港）：47分
- ロワシー・シャルル・ド・ゴール：1時間30分



ル・マン

観光局

16 rue de L'Etoile

72000 Le Mans

FRANCE

Tél : +33 (0)2 43 28 17 22

Fax : +33 (0)2 43 28 12 14



contact@amazing-lemans.com

www.amazing-lemans.com

写真提供 : Gilles Monneret / Art du Mans / Photo - 全編 : Car Frank